

# お知らせ

令和4年 3月 吟道館本部

## I. 行事

### 令和4年行事予定

<del>3月—6日(日)群馬地区四段審査</del>	伊勢崎市民プラザ
※日程変更5月 1日(日)群馬地区四段審査	伊勢崎市民プラザ
取りやめ 4月—9日(主)第8回石童丸の会(石童丸優勝者による発表大会)	タワーホール船堀大ホール
4月17日(日)野田吟詠同好会詩吟発表大会(野田吟詠同好会会員のみ)	野田興風会館
5月22日(日)伊勢崎吟詠会せいねん部発表会	伊勢崎市民プラザ
12月10日(土)第64回支部対抗コンクール	タワーホール船堀小ホール
課題吟 「川中島」 「富士山」 「和歌あさみどり」	

## お知らせ

会員皆様においては、御元気にお過ごしと思います。しかしながらこの2月3月に予定しておりました石童丸コンクールは世の中の状況がなかなか改善しない状況を鑑み、延期と致しました。今回こそはと楽しみにして下さった方々には大変申し訳なく思いますが、皆様の安全を第一に考えた結果となります。何卒御理解頂きます様御願ひ致します。

次は今年の9月10月に予定しております回を、59回目のコンクールとして是非実施したい希望です。また少し伸びてしまいましたが、皆様の熱意をしっかりとつないでおいて頂きます様、お願い致します。そして、その様な中でも季節は移り、待ちに待った春の到来です。好きな詩吟を1つ口ずさみ、心に栄養を与えながら前向きに過ごして参りましょう。

### 副幹事長 赤丸紀風先生より皆様へ

皆さんこんにちは、コロナ感染症が猛威を奮い、私達の日常生活に少なからず影響を与えておりますが、いかがお過ごしでしょうか。ここ2年程、本部行事も又各支部の記念行事等も延期を余儀なくされ、残念で仕方ありません。私の会も数回実施しただけです。詩吟の魅力は、教養と健康維持を兼ね備えた、素晴らしい生涯学習だと思えます。長い間慣れ親しんできましたが、今生活リズムが崩れました、我慢のしどころですね。昨今は大変厳しい世相ですが、館長も頑張ってください。会員の皆さんも頑張ってください。

### ①第59回石童丸コンクール

第59回石童丸コンクール予定	9月25日(日)石童丸東京予選	日本橋公会堂
	10月 2日(日)石童丸千葉予選	野田興風会館
	10月30日(日)石童丸決勝大会	日本橋公会堂

**出吟料 4000円 出吟資格 四段以上 出吟順序 3部 1部 2部**

第1部70才まで 第2部71才~80才まで 第3部81才以上

※以前とは年齢区分が違うので注意する事。令和4年4月1日時点の満年齢を基準とする。

※令和元年第58回大会のシード権を持っている方は、引き続き予選免除の資格を有する。

シード選手も現行の年齢区分に合わせた部で出場するものとする。

### ・免状発行について

初段から七段の免状発行は年四回とします(2/1付、6/1付、9/1付、12/1付)  
師範・八段については4/1付、10/1付。この様な時ですが、前向きに進みましょ。

# 新「吟力測定」を継続します

皆様の吟力維持・吟道館の活力を保つ為に

皆様からお送り頂くテープ、または音声データを基に四代館長が「発声」「読み」「音程」「節調」「リズム」「調和」の各項目に対して判定し、「吟力測定」を致します。更にこれからの為にどの様にしたら各項目が「とても良い」に近付くのかアドバイスをを行います。

- 要 項**
1. 御自分の選んだ吟題(長短は問わない)を1つテープに吹き込み本部に郵送する。  
(音声データ送付も可) ※LINEならgindoukan4(半角英数字)まで。
  2. 四代館長がテープを聞き判定した結果を「吟力測定チェックシート」に示す  
同時にテープ裏面にこれからのに向けてのアドバイスを吹き込みチェックシートと共に返送する。

**対 象** 各師範としますが、それ以外の方も直接の先生か支部長の許しが有れば可能とします

**費 用** 金二千円と返送料180円をテープに同封して下さい。(お稽古回数券での支払いも可)  
※振込先 郵便振替 00140-2-760853 (有)六声社(リケイヤ)

## 本部稽古については以下の条件と致します

・引き続き受け入れ人数は1～3人までと致します

・各師範会・教師研究会・本部教室に在籍の方で気の合う方と時間を合わせておいて頂いて結構です  
いずれも月1回、好きな日、好きな時間を選んで本部へ予約する(電話・FAX・メール)

**3月** ①午前10時30分～11時30分の回 ②12時～13時の回  
月曜日～金曜日 ③午後13時30分～14時30分の回 ④15時～16時の回

※複数人での稽古は1時間半～2時間の稽古

※課題：御自分の選んだ課題 受講費用：1人2千円 講師 四代館長

※お互い何らかのマスクを付けたまま吟ずる事とします。(不織布マスクが一番望ましい様です)  
(30分毎に換気を行う。お互いの距離をしっかりと取り、更に間をビニールカーテンで仕切る。

飲み物は各自でお持ち下さい)

上記条件に賛同し、稽古を希望する方は本部まで御連絡下さい。御自分の体調、御家族の御気持ちをよく配慮した上で御参加を決めて下さい。

## ・四段審査

今年も四代館長によるテープ審査と致します。※LINE等の音声データ送付も可。

課題 「偶成」 「九月十日」 「和歌よもの海」

要項 上記三題から1つを選びカセットテープまたは音声データに吟題から録音し、本部へ郵送(送付)する。

※音声データ送付先はお問い合わせください。

※受験者は所属支部長の了解を得る。

※コンダクターの前奏を使用する事が望ましいが、無くても可。

※テープは返却しない。

審査実施期間 令和4年2月1日～6月30日までに届いたテープ及びデータを審査する。

費用 四千円 支払いは書留か振込

振込先 郵便振替 00140-2-760853 (有)六声社(リケイヤ)

審査結果はテープ・データが届き次第個別に審査し、1週間程度で所属支部長へ伝達する。

※昨年12月19日の教師審査において3名の皆様が受験、合格されました。この様な時期の奮闘努力に心より敬意を表します。誠にありがとうございました。

(今年の教師審査は8月以降に実施予定。決まり次第掲載し、伝達します。)



# 春うららミニコンクール開催

令和4年3月1日

待ちに待った穏やかな春がやって来ました。

皆様の元気な御声をお届け頂きたくミニコンクールを実施します。

春にちなんだ吟を1つテープに吹き込んで本部まで送ってください。

館長賞他必ず賞を付けて皆様の今の頑張りを称えます。

(例:館長賞、三代館長賞、敢闘賞、熱吟賞、技能賞などなど)

※応募者全員に記念ストラップと講評を返送します。



## 応募要項

以下の吟の中から1つ選んで、テープへ吹き込み本部へ郵送して下さい。

吟題	教本/ページ	吟題	教本/ページ
芳野懐古	1巻9	春簾雨窓	Ⅱ編56
春暁	2巻8	春風	Ⅱ編130
春を望む(土岐善磨訳)	3巻1	潮音	Ⅲ編41
春夜落城に笛を聞く	3巻22	君を想う	Ⅲ編76
江南の春	3巻17	春ここに	Ⅲ編142

館長が審査し、応募があった全ての皆様に賞を付けて5月のお知らせ上で発表します。

※優勝・準優勝を決めるコンクールでは有りません

費用:1曲につき2千円を同封してください(支部、名前、吟題、本数も書き添える事)

※テープは返送しませんので返送用切手はいりません。

※支部長さん、または直接の先生に一声かけて応募して下さい、お願い致します。

**締切り 令和4年4月20日**

◎次回はテーマを変えて6月末の締切りで初夏のミニコンクールを、  
その次は8月末の締切でミニコンクールを行う予定です。

吟道館本部